

「沖縄県」この一年

2023年は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、県では「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」や第7回「山の日」全国大会の開催をはじめとした大規模なイベントが開催されるなど、社会経済活動の回復に向け前進した年でした。
一方で、物価高騰による影響や台風第6号襲来など県民生活に深刻な影響が生じ、県では、事業者や被災者への支援など負担軽減および早期回復に向けて取り組みました。



犬猫の殺処分ゼロ、廃止に向けた取組を推進するための拠点施設として動物愛護管理センターに譲渡推進棟を整備し、人と動物が共生する社会の実現に向け取り組んでいます。



沖縄県と長野県は、両県の強みや魅力を活かし、各分野において交流を促進し、連携・補完関係を強化することを目的に、交流連携に関する協定を締結しました。



沖縄県立北部病院と北部地区医師会病院を統合し、新たに整備する公立沖縄北部医療センターの設置主体として、県と北部12市町村が共同し、4月1日に沖縄県北部医療組合を設立しました。



次世代を担う沖縄の子どもたちに木工体験や木製玩具で遊ぶ機会を提供し、県産木材の利用推進に取り組むこととした「沖縄県ウッドスタート宣言」を行いました。



沖縄県医療的ケア児支援センターは、医療的ケア児やその家族などからのさまざまな相談に総合的に対応する拠点施設として開所しました。



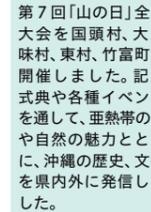
台風第6号が約1週間に渡って襲来し、電気、通信、交通及び流通など、県民生活に大きな被害をもたらしました。知事は各地の被害状況を視察し、職員に復旧や支援を指示しました。



ゆいレールは、開業から20周年を迎え、開業記念日となる8月10日に、3両編成車両の運行を開始しました。



第7回「山の日」全国大会を国頭村、大宜味村、東村、竹富町で開催しました。記念式典や各種イベントを通して、亜熱帯の山や自然の魅力とともに、沖縄の歴史、文化を県内外に発信しました。



8月25日から9月3日までの間、大会が開催され、日本代表の活躍でパリ五輪の出場が決定しました。県は支援協議会の事務局として、観客輸送、子ども達の招待などの取組を実施しました。



今年で35回目を迎えた離島フェアは、「帰ってきたよ！離島フェア」をテーマに、4年ぶりに沖縄セルラーパーク那覇(奥武山)で開催されました。



適切な価格転嫁と買上げを推進し、未来への投資が生み出される経済の好循環の構築に向けた全県的な気運を醸成するため、県内の商工労働関連16団体の連名で共同宣言を发出了。



沖縄県のスタートアップに関連する複数の施策を実施するスタートアップの総合支援拠点として、那覇市内にStartup Lab Lagoon NAHAを開所しました。



首里城復興の機運醸成を図るため、首里城ナンパプレート の普及推進に取り組んでおり、交付開始となる10月23日に、首里城公園内守礼門前にて、記念セレモニーを実施しました。



玉城知事は、スイス・ジュネーブで開催された国連人権理事会本会議に出席し、沖縄に基地が集中している状況や県民の平和を希求する思いなどについて、スピーチを行いました。



今年で35回目を迎えた離島フェアは、「帰ってきたよ！離島フェア」をテーマに、4年ぶりに沖縄セルラーパーク那覇(奥武山)で開催されました。

- 1月
- 7日 ● 沖縄県動物愛護管理センター譲渡推進棟「ハビアニおきなわ」開所式¹
 - 15日 ● 「沖縄県ウッドスタート」を宣言²
 - 16日 ● パラオ共和国において同国との友好関係強化に関する覚書締結を記念するレセプションを開催(1/17)
 - 19日 ● 離島フェア2022の開催店頭販売(1/29)オンライン販売(2/24)

- 2月
- 1日 ● 南大東村への水道用水供給開始
 - 1日 ● 首里城公園及び沖縄美ら海水族館等の県管理継続
 - 2日 ● 第32回北前船寄港地フォーラム「Okinawa」の開催(2/4)
 - 13日 ● ブラジルで琉球王国時代の貴重資料「家譜」を発見・寄贈される

- 3月
- 6日 ● 玉城知事が米国ワシントンD.C.を訪問(3/11)
 - 14日 ● 豊見城市豊崎に豊崎交番が開所
 - 15日 ● 「沖縄県及び長野県の交流連携に関する協定」を締結³
 - 28日 ● 沖縄県SDGs推進本部にて「おきなわSDGsアクションプラン」の改定を決定
 - 28日 ● 沖縄・奄美エリアが、観光庁による「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」の全国11地域のモデル観光地として選定
 - 31日 ● 「沖縄県差別のない社会づくり条例」を制定
 - 31日 ● 本県の特性を活かした食育に関する計画である「第4次沖縄県食育推進計画」を策定

- 4月
- 1日 ● 公立沖縄北部医療センターの設置主体となる沖縄県北部医療組合が発足⁴
 - 3日 ● 「沖縄県訪問看護総合支援センター」開設
 - 8日 ● 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行

- 5月
- 8日 ● 沖縄県口腔保健支援センター「歯つびくセンター」開所
 - 14日 ● 令和16(2034)年第88回国民スポーツ大会の沖縄県開催内々定
 - 19日 ● 「沖縄県犯罪被害者等支援計画」を策定

- 6月
- 1日 ● 国指定重要文化財「首里の織物」の再指定並びに保持者の認定(各個認定)及び「琉球古典音楽」保持者の追加認定(各個認定)
 - 21日 ● 「沖縄県医療的ケア児支援センター」開所⁵
 - 28日 ● 「沖縄県医療的ケア児支援センター」開所

- 7月
- 1日 ● 水難事故防止運動の実施(7/10/31)
 - 10日 ● 名護市内でヤンバルクイナを初めて確認
 - 21日 ● 「国指定重要文化財「首里の織物」の再指定並びに保持者の認定(各個認定)及び「琉球古典音楽」保持者の追加認定(各個認定)」
 - 28日 ● 「沖縄県医療的ケア児支援センター」開所

- 8月
- 1日 ● 台風第6号が襲来
 - 2日 ● 玉城知事が被害状況を視察(8/11)⁶
 - 2日 ● ウチナーネットワーク継承キャラバンの実施(ラジール(8/12))
 - 10日 ● ゆいレール開業20周年記念式典及び3両編成車両出発式⁷

- 8月
- 10日 ● 「農業経営の維持・発展に向けたキャリアパスと新たなコミュニティづくり」をテーマに、農林水産部長と女性農業士の交流会を開催
 - 11日 ● 第7回「山の日」全国大会おきなわ2023の開催⁸
 - 24日 ● 沖縄と奄美群島との交流の拡大に係る連携協定を締結
 - 25日 ● FIBAバスケットボールワールドカップ2023開催(8/9/3)⁹
 - 25日 ● 「適切な価格転嫁及び賃金の引上げの推進により地域経済の活性化に取り組む共同宣言」の発出¹⁰

- 9月
- 1日 ● ウチナーネットワーク継承キャラバンの実施(カナダ・アメリカ、9/10)
 - 11日 ● スタートアップ支援拠点「Startup Lab Lagoon NAHA」開所式¹¹
 - 14日 ● 公労使で構成される沖縄県雇用対策推進協議会において「人手不足への対応に関する共同宣言」を发出
 - 14日 ● 認知症「本人が自身の経験を伝える「沖縄県認知症希望大使」を県内で初めて委嘱
 - 18日 ● 玉城知事が国連人権理事会に出席¹²

- 10月
- 1日 ● 支援を要する若年妊産婦などの特定妊婦が安心して生活するための宿泊型居場所を設置
 - 5日 ● 辺野古埋立変更不承認処分に関する是正の指示の取消を求める関与取消訴訟について、最高裁が県敗訴判決を言い渡したことが受け、国土交通大臣が沖縄県知事を相手に代執行訴訟を提起
 - 23日 ● 首里城図柄入りナンパプレート交付スタート¹³
 - 24日 ● 第74回日本学校農業クラブ全国大会令和5年度熊本大会、プロジェクト発表会、分野Ⅲ類「ヒューマンサービス」北部農林高校最優秀賞(文部科学大臣賞受賞)(10/26)
 - 27日 ● 「第47回沖縄の産業まつり」の開催(10/29)
 - 30日 ● 沖縄県マリンタウン国際会議・大型展示場整備運営等事業の実施方針を公表

- 11月
- 3日 ● 令和5年度首里城復興祭の開催(11/5)
 - 6日 ● カンボジア地雷対策センターと「地雷対策を通じた平和と人間の安全保障の啓発・普及のための博物館づくり」覚書を締結
 - 9日 ● 「ResortTech EXPO 2023 in Okinawa」の開催(11/9)
 - 16日 ● 「11th 沖縄大交易会2023」の開催(11/17)
 - 17日 ● 第3回「沖縄県所得向上応援企業認証制度」認証式の開催
 - 24日 ● 離島フェア2023の開催(11/26)¹⁴
 - 28日 ● 第62回農林水産祭表彰行事むらづくり部門において、石垣市の「大浜公民館」が農林水産大臣賞を受賞
 - 30日 ● 伊平屋村への水道用水供給開始
 - 1日 ● 「第3回ちゅうちゅうち草の根平和貢献賞」受賞者の決定

- 12月
- 1日 ● 「第3回ちゅうちゅうち草の根平和貢献賞」受賞者の決定

募集 公立学校臨任教職員・非常勤講師
令和6年度の登録はこちらから▶

募集 公立学校臨任教職員・非常勤講師
令和6年度の登録はこちらから▶